妻はアスペルガーの夫の“違い”とどう向き合ったのか

○佐藤 佑貴
(福島学院大学)

キーワード：アスペルガー症候群，夫婦，違い

How had the wife faced the "difference" of husband with Asperger syndrome?
Yuhki Sato

(Fukushima college)

Key Words : Asperger syndrome, Couple, Difference

目的)本研究では、パートナーが発達障害(とくに自閉スペクトラム症)をもつ夫婦関係のあり方に注目する。発達障害者の夫婦関係は、様々な手記(泉:2005,西城:2015他)にみられるように、協業関係が成立せず苦しんでいる状況が明らかに出てきている(「カサンドラ愛情剥奪症候群」など)。筆者は、昨年度の本学会で発達障害(アスペルガー症候群:以下、AS)をもつ夫と私の生活を書き著した文献から、AS者のパートナーの体験について実存的視点から考察した(佐藤,2018)。そこでは、「主体への関心の向けられなさ」が体験されていることが示唆された。一方、文献の著者は、最終的に以下のような表現をしている「今では二人の考え方の違いは受け入れるしかないと思っています(中略)いつも申し分のない行動が取れなくても、お互いから学ぶことは二人にとって有益です。」ここからは、互いの違いを知り歩み寄ることができたために、学びを得る関係になっていることがうかがえる。また、著者は「私たちの間にある違いを知りさえすれば、前に進めます(第20章 No.342)」とも述べているが、違いを知ることだけが関係変容の影響因だろうか。そこにはまた別の体験があったのではないかと推測する。本研究では、著者がどのように先述のような境地に至ったのかについて、「[違う]ということとの向き合いに注目し、著者の体験レベルを描写することを目的とする。

方法) 上記目的を達成するために、本研究では以下の方法を採用する。

研究对象

文献：『カトリン・ベントリー（2008）一緒にいても ひとり
アスペルガーの結婚がうまくいくために、東京書籍』

文献の概要：妻カトリン（著者）とASをもつ夫ギャビンが登場する。カトリンはギャビンに惹かれ結婚しながら、その後「うまくいっていない」結婚生活を送る。結婚から17年後の医学的診断によって「求め続けてきた関係をやっと手にいれる」体験に至る。

論理的問題:本研究における書籍前文の活用については、引用の範疇を超えるが、著作権法第47条の7(情報解析のための複製)に定める著作物の自由活用が認められる範疇と判断する。

分析方法:文献のテキストデータを電子化し、これらについてテキストマイニング(分析ソフト:KHcoder3)を行った。具体的には、共起ネットワークの作成および多次元尺度構成法を実施し分析を行った。

結果と考察)

1. キーワード【違う】がどのように用いられているのか：

【違う】は本文中に44か所出現している。【違う】に関する共起ネットワークは図の通りである。また、【違う】に関する文書を読み込んでいくと、以下の流れが見えてくる。①違いに気づいていない、②違いに直面する、③違いの具体に気づく。ASであることを知り、「今になればギャビンのせいであ

も私のせいでもなかったと理解できます（第11章

No. 171) 」と述べている著者であるが、発達障害児者の障害受容の難しさからすれば【違い】に気づいても、それを受け入れるのは容易ではないことが推測される。著者が言うような「お互いから学ぶことは二人にとって有益」となるまでに何があった可能性があるだろうか。

2. 【違う】を受け入れるに至る体験について：次に、共起ネットワーク上で【違う】の近くに配置された【知る】に注目した。【違う】の内容が分かった著者は、何を知ったのか。【知る】は本書籍中に67か所出現している。【知る】に関する文書の中に一つの示唆を得た。『私が落ち込んででもギャビンはイライラしません。これが普通の生活の一側面であり、自分が解決法を見つけ出さなくてはならないわけではないとギャビンはわかっています。これを知ったことで不安がだいぶ減りました。（第10章 No.156）』とある。夫婦関係の中での悲喜こもごもを表現することが保障されたことが、【違う】ことを受け入れることにつながったのではないかと推測される。この示唆は、いわゆる障害受容に関する心理的支援において非常に重要であると考えられる。

引用文献)

Bentley, K. (2007). *Alone Together Making an Asperger Marriage Work*. London and Philadelphia. (ベントリー, K. 室崎育美 (訳) (2008). 一緒にいてもひとり アスペルガーの結婚がうまくいくために 東京書籍)

泉流星(2005). 僕の妻はエイリアン 「高機能自閉症」との不思議な結婚生活 新潮社

西城サラヨ(2015). カサンドラ妻の体験記-心の傷からの回復- 星和書店

佐藤佑貴 (2018) . アスペルガー症候群をもつ夫との生活で妻の実存はどうあったか 妻の記述のテキストマイニングから
日本心理学会第82回大会論文集